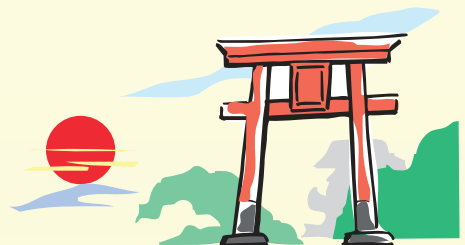


# 新年のごあいさつ



越前町長

## 敬信

町民の皆さま、あけましておめでとうございます。皆さまには、ご家族おそろいで輝かしい新春をお健やかに迎えたことと、心からお慶び申し上げます。また、旧年中にたまりました心暖まる励ましとご叱正に感謝申し上げますとともに、町政の推進に格別のご理解、ご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

さて、平成19年を振り返ってみますと、雪に煩わされることもなく、十二支の取りを飾る「亥年」が幕を開け、国内景気は戦後最長の「いざなぎ景気」を超える一方、あらゆる分野に格差が広がり、「格差社会」が流行り言葉になりました。また、飲酒運転による悲惨な事故が相次ぎ、飲酒運転を厳罰化するための道路交通法が改正され、また地方分権改革推進法などの成立を受けて第2期分権改革や道州制の議論が盛んに行なわれました。一方、虐待の発見が遅れ児童が死亡するなどの深刻なケースも後を絶たず、いじめや不登校、校内暴力、青少年による凶悪な犯罪など、青少年にかかわる問題はより深刻さを増したように思います。国の

内外では、地球温暖化による気候変動が大きな問題になり、鳥インフルエンザが世界的に再燃し、国内でも鶏の大量死が発生しました。また、食品の賞味期限や原産地をいつわる偽装表示が相次ぎ、食の安全性がいじめるしく損なわれた年でもありました。その他、能登半島沖地震や新潟県中越沖地震、台風4号による災害、ペルー地震、スマトラ沖地震など国の内外で自然災害が多発し、相次ぐ年金問題や閣僚の不祥事、格差問題など、私たちを取りまく社会経済状況は、誠に厳しい一年であったように思います。一方、本町の財政状況は17年度決算でみますと、經常収支比率は96・3%と財政の硬直化が進み、実質公債費比率は24・1%と高い率を示しました。このため、18年度を財政改革元年と位置づけ、向こう5年程度を目標に財政改革への取組みを強化し、緊急に取りくむべき課題に

施策の絞込みを行いました。そうしたなか、農林水産業の振興はもとより、介護保険など少子・高齢化への対応、社会福祉施設の充実、生活関連施設の整備、資源循環型社会の構

築など、政策課題を着実に推進することができました。特に、12月1日に開催された内閣府との共催による「男女共同参画宣言都市」記念式典は、町内外より600人あまりの関係者が参加し、元内閣府特命担当大臣、猪口邦子氏による記念講演会を開催するなど、共生社会の実現に取りくむことを内外に力強くアピールし、品格ある町づくりに大きく前進できたものと自負しています。

さて、本年は、新生越前町にとって合併後4年目を迎え、関町政一期目の仕上げの年でもございます。一層の行財政改革を進める一方、これまでに取りくんできた施策の仕上げを行い、町民の皆さまに対し成果を確実に示すべき年であると考えています。特に学校教育や少子化対策、安全・安心の確保、住環境の整備、農林水産業の新たな展開、情報通信基盤の整備、上下水道や道路の整備など重要課題に全力で取りくんでまいりたいと考えています。また、越前ブランドや数多くの文化財、伝統芸能、ホッケー場を中心とした体育施設、海・山・里の豊かな自然や食材などを紹介し、全国にむけて本町の魅力を発信してまいりますので、町民の皆さまの一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。

年頭にあたり、町民の皆さまのますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



越前町議会議長

## 井上 信雄

新年あけましておめでとうございます。町民の皆さまには、お健やかに輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、町議会の活動に温かいご理解とご支援を賜わり、厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、お隣の石川県や新潟県で大きな地震が発生し、多くの方々が被災した状況を目の当たりにして、自然界の厳しさと畏敬の念を改めて抱きました。また、社会面では、いわゆる偽装問題が次々と報じられ、私たちの日常生活に対する安全と安心を脅かした年でもありました。

一方、政治に目を向ければ、統一地方選挙の年にあたり、福井県知事選挙や県議会議員選挙が行われ、西川知事の再選とともに、新しい県議会議員が選良されました。

続いて7月には参議院議員選挙が行われ、結果的には、自民党の惨敗と民主党の躍進という衆参ねじれ国会の現象を招きました。そして、安倍総理の突然の辞職は、

国民の誰もが驚き、戸惑いを感じました。新たに誕生した福田内閣では、「自立と共生」を基本とした政策の実行を掲げ、総理の所信表明演説では、

ねじれ国会における国会運営のあり方や年金問題に代表される社会保障制度の整備、少子高齢化社会への対応や男女共同参画社会の実現、格差社会の是正や国民の安全・安心が重視される行政機能の強化などが指摘されました。また、平成20年度の国の予算編成方針では、安定した経済成長と改革の推進、地方の自立と再生、安全・安心な社会の実現を大きな柱とし、経済や社会保障政策、地方の再生や温暖化などの環境対策など「経済財政改革の基本方針2007」、「地方再生戦略」を中心に予算の重点化・効率化の徹底を図ることとしています。

国・県ともに財政の硬直化と慢性的な財源不足の中、合併して3年が経過しようとしている本町としても、今年

は正念場を迎えようとしております。景気の停滞から抜け出したとはいえず、目まぐるしく変化する国の内外情勢に、先の見えない、不確実な要素を感じ

がら、次世代に思いを致し、大切に守るべきものは守り、育てるものは育て、引き継ぐべきものは引き継がなければなりません。越前町の将来の姿を見据え、その姿にどのようにならざるかを常に念頭に置き、希望に満ちたまちづくりが求められています。

そのためには、私たち議員もあと1年あまりの任期を残すのみとなりましたが、厳しい財政運営の中で、議会の役割を十分に認識し、町民の皆さまの負託に応えられるように、さらに議会の機能を充実させていきたいと考えております。あわせて、今年、地方にとっても「自立と共生」という重い課題を背負う年であるような気がいたします。町民と議会、町民と行政、議会と行政がどこまで手を携えて行動できるかが、越前町にとって大きなカギとなるように思われます。町民の皆さまの町政並びに町議会への積極的な参画をお願い申し上げます。

年頭にあたり、町民の皆さまの益々のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

